

令和7年度 第1回臨時政策会議

<検討>

1	【政策会議のみ】財政判断指標の基準値及び目標値の見直しについて（検討） （財政課）			
	<概要> （１）経常経費増加の影響を特に受ける経費硬直率及び経常収支比率について、目標値及び基準値を変更する。 （２）今回の見直しは令和8年度及び9年度予算・決算と予算に併せて作成する中期財政計画に適用し、次期市長任期第1年度である令和9年度に令和10年度から13年度までの適用分の見直しを行う。			
	政策会議	決定	調整会議	－

【政策会議での主な意見】

- ①現在は地域手当3％を特別に継続しているが、今後の対応策として見直しの対象となるか。
→人件費のカットについて、すぐには考えていないが、状況によっては今後検討する可能性はある。当面は基金の取り崩し等で財源確保するが、将来的には歳出削減として根本的な見直しが必要になることも考えられる。
- ②類似団体が46市あるのか、7市あるのか。
→実際には50数市ある。
- ③参考資料内の類似団体比較にある順位付けは、その50数市の中での順位ではないのか。
→50数市によるものではなく、表内の7団体との比較であり、過去からこの7団体との比較を継続している。
- ④R3年度に経常収支比率が低下した理由は。
→普通交付税の再算定により、交付税額が大きくなったことによる。全国的にも同様。
- ⑤スケジュールに市議会会派との意見交換を予定しているが、全員協議会とは別にこれを設けたのは議会側からの意見等によるものか。
→より丁寧に進めるための執行部からの提案である。全員協議会後に会派で検討してもらった上で意見交換するもの。